

いちい



<https://www.koto-e.sapporo-c.ed.jp>

令和8年(2026年)6月30日

2 節(7、8、9月)「ひろげよう」

7月の行事予定

7月 2日(木)1学期図書貸出終了
S C来校日 12:45 ~ 15:45
3日(金)図書返却週間(~7日まで)
委員会活動④
6日(月)ALT授業
7日(火)ALT授業
8日(水)2年)校外学習(東札幌図書館)
6年)修学旅行1日目
9日(木)6年)修学旅行2日目
S C来校日 9:00 ~ 12:00
10日(金)6年)回復休業日
14日(火)PTA資源回収

15日(水)夏休み図書貸出(お・中学年)
16日(木)夏休み図書貸出(低学年)
ALT授業
17日(金)前期児童・保護者アンケート配信
夏休み図書貸出(高学年)
クラブ活動④ ALT授業
21日(火)4時間授業日 大掃除
22日(水)4時間授業日
23日(木)4時間授業日 ALT授業
S C来校日 9:00 ~ 12:00
24日(金)1学期終業式(4時間授業日)
25日(土)夏季休業開始(8月23日まで)

保護者アンケートについて

7月17日(金)に全家庭を対象として、前期の保護者アンケートを実施します。すぐーるにて、回答用のフォームのURLを配信しますので、そこから回答していただきますようお願いいたします。

車での来校について

登下校の時間帯は、学校前の道路がスクールゾーンとなっています。学校前の交通量が増えることによって、歩行の安全が守れなくなったり、駐車する車があることにより、道路の見通しが悪くなったりすることがあります。趣旨を御理解いただき、御協力をお願いいたします。

<スクールゾーンの時間帯>

- ・ 8時00分~ 9時00分
- ・ 13時30分~ 16時00分

お礼とお願い

6月9日(火)に花ボラの皆様に花壇の整備をしていただきました。とてもきれいになりました。ありがとうございました。また、5年生保護者の皆様、6月の登下校見守り等ありがとうございました。7月の担当は4年生保護者の皆様となっています。どうぞよろしくをお願いいたします。

児童のスマートフォンの扱いについて

最近、子どもの使用するスマートフォンやゲーム機について、グループLINEでのトラブルや、通信ゲーム内でのトラブルの情報が学校に入ってきています。

ICT機器を使いこなせるデジタルネイティブの子どもたちだからこそ、大人の適切な見守りが必要です。

子どもたちの安全を守るために大切にしてほしいことを次ページにまとめましたので、お子さんがスマートフォン等を使用している御家庭の保護者の皆様には、必ず目を通していただき、子どもたちが健全に成長していくことができるよう、御協力願います。

なお、学校では、お子さんの使用するスマートフォンの内容の確認ができません。保護者の責任の下、トラブルを未然に防ぐことができるよう、御家庭での積極的な関わりをお願いいたします。

水泳学習について

すぐーるを活用した水泳学習の出欠の連絡は、当日の朝、お子さんの体調を確認してから入力をしていただきますようお願いいたします。命に関わることでありますので、御理解と御協力をお願いいたします。

【学校からのお知らせ】

大切なお子様をSNSトラブルから守るために： 家庭で話してほしい「8つのポイント」



最近、校内でグループLINE等による、ネットいじめにつながる可能性のあるトラブルが散見されています。学校では、グループLINEの使用は推奨しません。そのことについて各学級において指導も行います。SNSは便利な反面、匿名性や拡散性、そして「消せない」というリスクがあり、学校教育だけでなく、日常を共にする家庭での「情報モラル教育」が子どもを守る最前線となります。

スマホ利用の「前提」と「家庭の役割」



情報モラル教育の 主役は「家庭」です

学校だけでなく、毎日の会話を通じて「相手を傷付けていないか」を伝えることが重要です。



LINE

12歳以上



Instagram / TikTok



X (旧Twitter)

13歳以上

SNSには 「推奨年齢」があります

学校では、推奨年齢未満のSNSの利用を推奨していません。



保護者の「振る舞い」が 手本になります

ながらスマホや無断投稿を避け、大人がモラルのある行動を子どもに見せましょう。



加害者・被害者にならないための「意識」



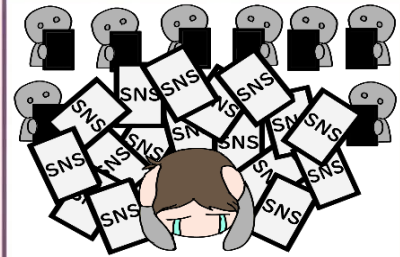
ネットいじめは 「見えにくい」場所で 深刻化します

グループLINE等は匿名性が高く、軽い冗談のつもりが、重大な被害につながります。



画面の向こうに「心がある人」を想像する「言葉の責任」を教え、送信前に一度立ち止まって考える習慣をつけさせましょう。

子どもの未来を守る「投稿の重み」



一生消えない 「デジタルタトゥー」の怖さ

一度投稿した情報は半永久的に残り、将来の進学や就職に影響する恐れがあります。



SNSは「公共の場」 であるという自覚

「友達限定」のつもりでも、予期せぬ形で拡散されるリスクを常に意識しましょう。



困った時の「相談ルート」を確立する
否定せず「まずは話を聞く」姿勢で、子どもが隠れて使わない環境を作ってください。